

Q. 移動支援を実施しては

A. 最適な移動支援を検討する



さくのけいこ
作野桂子 議員

SAKUNO Keiko

新役員就任

議案 PICKUP

一般質問

豊山町議会議員選挙の投票率は2019年が48・56%、2023年が40・37%であり、8%以上低下している。今回は立候補者が少なかつたなどの要因もあるが、この結果を真摯に受け止め、皆さまから関心を持っていただけたら、議員・議会としてできる取り組みを推進していきたい。

全国的にも投票率の低下が問題視されており、若者の投票を促す取り組みが必要だと考える。また、超高齢社会である日本では高齢者や要介護者、障がいのある方の投票機会拡充のため、移動支援や不在者投票と呼ばれる制度、投票所でお手伝いができることなどの周知が必要だと考え、質問する。

Q 町議会議員選挙でも選挙公報を発行、全戸配布し、HPやSNSに掲載しては。

A 総務部長

選挙公報を発行している事例を参考に発行やHP、SNSでの周知を検討する。

Q 選挙期間中に交通弱者に対してバス無償化など移動支援をしてはどうか。

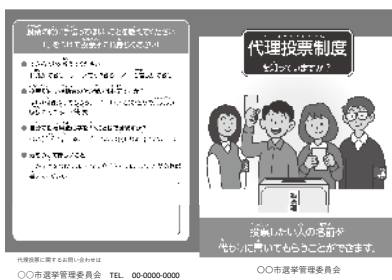
A 総務部長

移動支援が必要となる有権者の割合が増加していくため、他市町の事例を参考に本町にとって最適な移動支援について検討していく。

Q 郵便投票などの不在者投票や投票所で支援が必要な方のお手伝いができることを周知してはどうか。

A 総務部長

今後は選挙執行時だけでなく、年間を通して不在者投票などの各種投票制度や代理投票制度についてHPなどでの周知に努めていく。



狛江市のリーフレット

Q. 遊べる場所として校庭活用は

A. 有効な方法の一つである

2022年度の全国体力テストでは、小中学校共に調査開始以来、過去最低を記録する結果が出ており、子どもたちの運動不足や肥満傾向が進んでいる。要因は、コロナ禍による生活習慣の変化、塾や室内遊び時間の増加、子どもの遊び場の減少などが考えられる。今後は部活動の廃止による影響も予想される。

体を動かすことは健康寿命を延ばすことにもつながり、とよやま健康づくり21計画にも、身体活動と週2回の運動を継続することの重要性が明記されている。

町は、子どもたちが定期的に体を動かす機会や自由に遊べる場所を確保する必要があり。今回は様々な方から声があがっているボール遊びができる場所について質問する。



Q 小学校の校庭は、令和元年まで子どもたちの遊びの場となっていた実態もあり、最適だと考える。

子どもたちが自由に遊べる場所として校庭を活用してはどうか。課題は何か。

A 教育委員会事務局長

校庭活用は有効な方法の一つである。最も大きな課題は不審者対応など、安全対策である。また、利用時間、開放区域などのルールづくりが必要である。放課後の子どもたちの活動については、生活福祉部と連携しながら課題の解決に向けて努力していく。